

平成19年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		武蔵野市子ども協会							
①	指標名	市内利用者数の増加を図る			目標値	(吉) 29.4人 (は) 67.7人	実績値	(吉) 33.0人 (は) 66.4人	
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	(吉) 112.2% (は) 98.1%	達成状況	未実施・未達成(達成)	
	(単位: 人)	(吉) 32.7人 (は) 67.0人	(吉) 32.9人 (は) 70.5人	(吉) 29.0人 (は) 66.7人					
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①ひろば事業 ・ひろばの中で積極的に利用者に関わり、利用者からの相談に提案や助言を行い適切な援助ができるよう努めた。 ・初めて来館する利用者が安心して遊べるように「初めての利用者説明会」を毎月実施した。 ②つどい事業 ・0歳児の親子の支援に特に力を入れ、親同士の交流と仲間作りを援助した。 ・1歳ひろば、2歳・3歳ひろばの回数を増やした。 ③相談事業 ・スタッフが受けた相談を記録し、相談内容の分析と把握を行った。 ④情報提供事業 ・利用者が必要な情報をより早く的確に収集することができるように、情報コーナーの内容や設置の仕方の見直しを行った。 ⑤地域交流事業 ・「リサイクル0123」の準備、当日の係りについて、地域のボランティアの方を中心に実施した。 ・スタッフがコミセン親子ひろばに出張し、親子の支援にあたった。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 19年度より「初めての利用者説明会」を定期的に行い安心して遊びに来れるように配慮したこと、1歳ひろばを月1回から3回に、2歳・3歳のひろばを隔月から毎月開催に増やしたことなどから利用が広がり、目標を達成することができた。今後も、ひろば事業の充実を目的に改善工夫を行い充実させてさらに利用者数の増加を図る。							
二次評価	0123吉祥寺・はらっぱの2施設合計での利用者は、18年度の41,027人から42,360人へと3.2%伸びた。このうち、市民の利用者に限れば、23,549人から24,694人へと4.9%増加した。施設ごとに見ると「吉祥寺」については16.2%増加し目標を達成したものの、「はらっぱ」については0.1%の減少となり目標値に達しなかった。19年度は「つどい」事業を拡充したため、利用者の総数の増加に寄与したが、「はらっぱ」についてはこの影響が見られなかった。今後も安心して遊びに来られるよう改善工夫を重ね更に市内利用者数を増加させるよう努める必要がある。								
②	指標名	管理経費の削減を図る			目標値	管理運営費のうち、一般運営費を削減するための検討		実績値	16,360千円
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成・達成	
	(単位: 千円)	15,339	14,716	14,951					
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 平成18年度未達成のため委託料や使用料等の削減に努める。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・対18年度比較では消耗品費が入館者カードの作成がなくなったため184万円減少したが、消費税を払うこととなり328万円増加したため、結果的には140万円増加することとなり、目標を達成できなかった。 ・今後も経費の削減に努め経営を安定化し、施設の運営・管理を継続的、安定的に行うよう努力する。							
二次評価	子ども協会については、平成17年度から指定管理者制度導入に伴い、それまでの補助金収入が受託料収入に代わった。これにより子ども協会は平成19年度から消費税を支払うこととなり管理経費は9.4%増加し、目標は未達成となった。管理経費の大半は人件費であるため、これ以外のところで経費を削る余地は小さくなっているが、工夫を重ね、さらなる管理経費の削減に努める必要がある。								
③	指標名	スタッフの人材育成			目標値	スタッフの意識の向上		実績値	企画委員会の開催や研修会に参加し、人材の育成を図った。
	過去の実績	平成16年度	平成17年度	平成18年度	達成率	—	達成状況	未実施・未達成(達成)	
	(単位:)								
	取組内容	※19年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①学識経験者や子育て施策の専門家で構成された企画委員会を2回開催し、専門分野からの助言を受けた。 ②市内関連施設や市職員を講師に招き市の事業を把握する研修を行った。 ③ケース会議などを通してスタッフ間の共通認識を持ったり、スタッフの親子への働きかけ方を検討した。 ④他県の施設を視察し、子育て支援に関する視野を広げた。 ⑤子育てに関する講演会や、コーチングについての研修会に参加し、知識や技術を身につけた。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 スタッフの人材育成についての取り組みを行うことができたが、運営組織としての能力を高めるためには、スタッフの能力向上がきわめて重要である。今後も職員研修、他施設への視察、他機関職員との情報交換などを積極的に行い、企画委員の専門知識や経験をより一層活用しながら、スタッフの意識、能力の充実を図る。							
二次評価	0123施設は、子育て支援など対人サービスが中心であり人材こそがこの施設の財産である。平成19年度には子育ての講習会への職員の参加やコーチングについての研修会に参加するなど、0123施設の特性にあった研修を行い、人材育成に努めたものと評価できる。平成20年度以降は「臨床発達心理士」の研修を受けさせるなど人材育成を行うことを計画しており、研修を受けた者を中心に職員レベルの向上に繋がるよう期待をしたい。								